

“柏原市の未来”を考える市民ワークショップ
in たまてばこ

報 告 書

令和元年 11 月

柏原市 政策推進部 企画調整課

1 開催の目的

これからの柏原市を担う子どもたちを育てられている保護者の方々に、現状の柏原市における課題や良いところ、今後の柏原市が目指すべき姿などについての意見を出していただき、現在策定を進めている第5次柏原市総合計画の参考としていくために開催しました。

2 開催日時

令和元年11月6日(水) 11時から12時10分

※当初10時からの開催を予定していましたが、参加者の集まり具合を検討し、1時間開始を遅らせていただきました。

3 参加者数

玉手つどいの広場「たまたまばこ」来場者6名

事前に「たまたまばこ」でのポスター掲示やチラシ配布などを行ったほか、スタッフの方々にもご協力いただき、開催日より前に「たまたまばこ」に来場された方へ声掛けを行って、参加者を募っていただきました。

4 参加者からの意見

ワークショップの中では様々なご意見をいただきましたが、この報告書では、意見の出た順番や出た意見を全て網羅していません。

また内容は、集約や要約を行ったものとなっています。

○柏原市の現状について

- ・他市で子育てをした経験等がないため、比較検討することがなく、柏原市の状況が良いのかどうか分からない。
- ・現在の子育てなどを考えるだけで精一杯でその他のことを考えられない。
- ・他市に比べると住みやすいと感じる。
- ・現在の人口程度が市域の広さに対してちょうど良いと感じている。
- ・人口規模が大きい都市の賑わいのある地域は人が多いため、雑然とした感じを受ける。
- ・車を持っていない場合、普段の行動は徒歩か電車を利用するが、急行の停車する国分駅に行くための市内循環バスが少ない。市内循環バスも、様々な停留所を回ってから駅などの施設に行くため、身近な停留所から直接駅などに行けず時間がかかる。
- ・病院に行きたくても市内循環バスで直接行けない。
- ・市内循環バスの利便性向上に向けて、土・日も運行して欲しい。
- ・市内循環バスは有料化しても良いので、利便性を向上して欲しい。
- ・近鉄バスがないため、不便である。
- ・公立保育所が認定こども園に変わること入所枠が減らないか心配している。
- ・各地域にある公園の整備がなされていない。
- ・子どもを連れて遊びに行くときは、府営の石川河川公園に行く。
- ・「たまたまばこ」があることで、子どもは遊ぶことができ、親もリラックスできるため、

子育て世代にとっては助かっている。

- ・未就園児と就園児の両方が遊べる公園があれば良い。
- ・年齢層別に分けた遊具が設置されると良い。
- ・公園にきれいなトイレがあると良い。
- ・ボール遊びや自転車の練習ができるような公園があると良い。
- ・市内の道路は全般的に狭いので困る。
- ・高井田付近の道路が狭くて危険である。
- ・通学路の整備が必要だと思う。特に小学校低学年の登校に関しては不安がある。
- ・東大阪市や八尾市に比べると治安が良い。
- ・治安の良さをPRできていない。
- ・民生委員など地域の方々の見守りは重要だと思う。

○柏原市の今後について

- ・現状の規模と環境で良いと思う。
- ・大型商業施設の立地が必ず必要とは思っていない。
- ・他市の商業施設などに行ける手段があると良い。
- ・学校などで柏原市の自然環境を活かした学びをできる機会が増えると良い。
- ・公園にヘビ、害虫、ハチなどが出ないよう環境整備が必要だと思う。
- ・竜田古道の里山公園について、場所によって草が伸びるなど整備がされていない部分があるので、こまめに整備する必要があると思う。
- ・既存の施設などを活かす方法を考える必要があると思う。例として、公園の雑草を頻繁に刈るなどして、公園をきれいな状態に保つなどしてはどうか。
- ・安全に子どもを公園で遊ばせるために、砂場の砂の入替をする必要があると思う。
- ・公園の砂場が難しいのであれば、幼稚園の砂場を解放するなどできないかと思う。
- ・公園の利用者が少ないと感じる。子どもは他の子どもや大人のマネをして様々なことを覚えると思うので、子どもの教育的に考えると利用者の方が良い。
- ・市として自然を売りにするのであれば、身近な公園の整備に力を入れた方が良い。
- ・自然環境が多いことで田舎の環境であることは良いと思う。
- ・こども会で地域の祭りなどを残していることは良いと思うが、休日に様々な負担があるのは避けたいと思ってしまう。
- ・地域コミュニティの希薄化が進んでいるので、充実させて地域で課題解決をすることは必要だと思うが、自身が積極的に参加することには抵抗がある。
- ・子どもの施策を考えるのも良いが、高齢者施策についても考えて欲しいと思う。
- ・市役所の手続きについて、市役所に行かずに身近な場所で様々な申請手続きなどが行えるようにしてほしい。
- ・市などが実施する様々な教室に、子どもと一緒に参加できるものがあると良い。
- ・病院も、子どもを連れて受診できるようにしてほしい。

5 まとめ

柏原市の居住環境について、現状に対する満足感があり、特に大きな不満点がない状況と考えられる。

そのため、今後の生活環境への希望は、新規の大規模開発や新たな取組などではなく、全体として、既存の施設、産業、自然、地域の人間関係などの身近にある地域資源を活かしたまちづくりが求められている。

その中でも、身近な交通環境や公園の環境整備を優先的に希望されているほか、子連れであることで不便を強いられる医療機関や市の各種教室などへの配慮も求められている。